

学校名 上尾市立原市南小学校
所在地 上尾市大字原市3990番地
電話 048-722-2100

1 本校の概要

本校は、今年度46周年を迎えた、学級数20学級、児童数532名の中規模校である。学校教育目標を「よく励む子 心さわやかな子 粘り強い子」とし、その実現に向けて「チーム原市南小」を合言葉に、児童、保護者、地域、教職員、全ての人が誇れる学校づくりを目指している。

2 本校の実践

(1) 学校図書館の充実

ア 図書の整備について

外国語が教科化されたことを受け、新たに英和・和英辞書を揃えたり、教科書の改訂に合わせた新書を購入したりして図書の整備を進めてきた。また、市の図書館のリサイクル本を学級文庫に配置するなどし、各教室においても読書に親しむことができるよう環境整備に努めた。新規図書の購入に当たり、新しく書架を増設して、面出ししながら図書を並べることができるようにした。

イ 図書館の開館にあたって

臨時休校明けの約1か月は休み時間の貸出を行わず、各学級の割り当て授業時間内に貸し出すようにした。また、各学年の学習内容や発達段階を考慮して選書した図書を各学級に110冊ずつ配本するとともに、それを定期的に学年内で交換することにより、読書習慣を途切れさせないよう配慮した。

7月からは「分散開館」を行った。分散計画を立てる上では、体育部で出された校庭の分散使用と学年が重ならないよう調整した。また、密を避けるため図書館内の机、椅子の使用はせず、カウンターは貸出のみにすると同時に、返却は図書室廊下に返却ボックスを設置することで、図書室内が密集しないよう留意した。その他にも、利用前後で手洗いをするというルールを徹底し、入口には消毒液を置き、感染症対策を徹底した。



(2) 読書活動の推進

ア 読み聞かせ活動や読書時間の確保

毎週水曜日の給食後30分を読書の時間（よむよ

むタイム）とし、じっくりと本を味わう時間を設けている。また、その時間に定期的に担任やボランティア、外国語専科教員やALTによる英語での読み聞かせも実施している。



イ 読書ビンゴの実施

11月の生活目標「本をたくさん読もう」と連動させ、読書ビンゴの取組を実施し図書委員が作成したオリジナルワッペンをビンゴ達成者にプレゼントした。



ウ 教員のおすすめの本紹介ポスターの掲示

先生方に協力いただいて作成したおすすめの本の紹介ポスターを図書室前に掲示した。



エ 図書委員会の活動

図書委員の児童の読み聞かせや読書推進CMを撮影し、各教室の大型モニタに流したり、300冊の読書を達成した児童に対して、図書委員が作成した折り紙ブックマークを渡す取組を行ったりした。また、おすすめの本紹介ポスター作成の取組も行った。



オ 読み聞かせCDの作成

よむよむタイムの時間に流せるよう、効果音の入った読み聞かせの音声データ6作品を用意し、共有できるようにした。

カ 市の図書館資料の活用

市の図書館にある資料を活用して、情報の収集、選択、活用等の情報活用能力を育めるようにした。

キ 臨時休校中の本の貸出

休校期間中にも昇降口前に本を置き、児童がいつでも本を借りられるようにした。



3 成果と今後の課題

令和2年度の図書館開館期間7月～12月までの貸出総冊数は8765冊であった。これは、令和元年度の同期間の貸出冊数に僅かに及ばなかったが、貸出可能日が限定されたにもかかわらず多くの本が貸し出されているということになり、児童の読書意欲が変わらず継続していると考えられることができる。先が見えない中ではあるが、状況に応じてその都度工夫しながら、これまで積み重ねてきた読書習慣を継続させるべく、これからも教職員一丸となって力を尽くしていきたい。